



# 岡山県地区防災計画等作成推進協議会

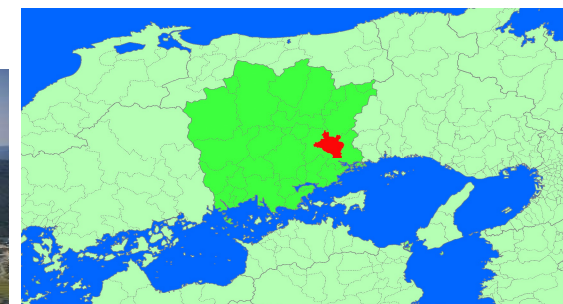
## 和気町宮田区自主防災会の取り組み

令和4年3月18日



## ■ 和気町の概要について

和気町は、岡山県の東南部に位置する自然豊かな町です。  
平成18年3月、旧和気町、旧佐伯町の合併により誕生しました。  
備前市、赤磐市、美作市に隣接しています。



面積	144.21 km <sup>2</sup>
人口	13,614人
世帯数	6,310
高齢化率	40.17% (R4年2月末現在)



## ■ 和気町の地域特性について

### ■ 和気町の概況

南の四国山脈、北の中国山脈に囲まれ、年平均気温14.1℃、年平均降水量1,204.3mm

南北に県三大河川の吉井川が貫流し、吉井川に流れ込む王子川や金剛川、初瀬川などの支流沿いの平野部には農地が広がる。

### ■ 主な災害履歴

#### ○風水害

- ・昭和47年 7月 集中豪雨
- ・昭和51年 9月 集中豪雨
- ・昭和54年10月 台風20号
- ・平成 2年 9月 台風19号
- ・平成10年10月 台風10号
- ・平成16年 9月 台風21号
- ・平成30年 7月 集中豪雨

#### ○地震

- ・昭和21年12月 昭和南海地震（岡山県震度6）
- ・昭和43年 8月 宇和島地震（岡山県震度4）
- ・平成 7年 1月 兵庫県南部地震（岡山県震度4）
- ・平成12年 1月 鳥取県西部地震（岡山県震度5強）
- ・平成13年 3月 芸予地震（岡山県震度4）
- ・平成28年10月 鳥取県中部地震（岡山県震度5強）



## ■ 宮田地区について

---

和気町南部の本荘小学校区に所在しており、幼稚園や小学校にも近く、JR和気駅にも近い。

新しい家が多く、区の人口は増加傾向にある。

人 口：665人

世帯数：280世帯

※町内で2番目に人口の多い行政区

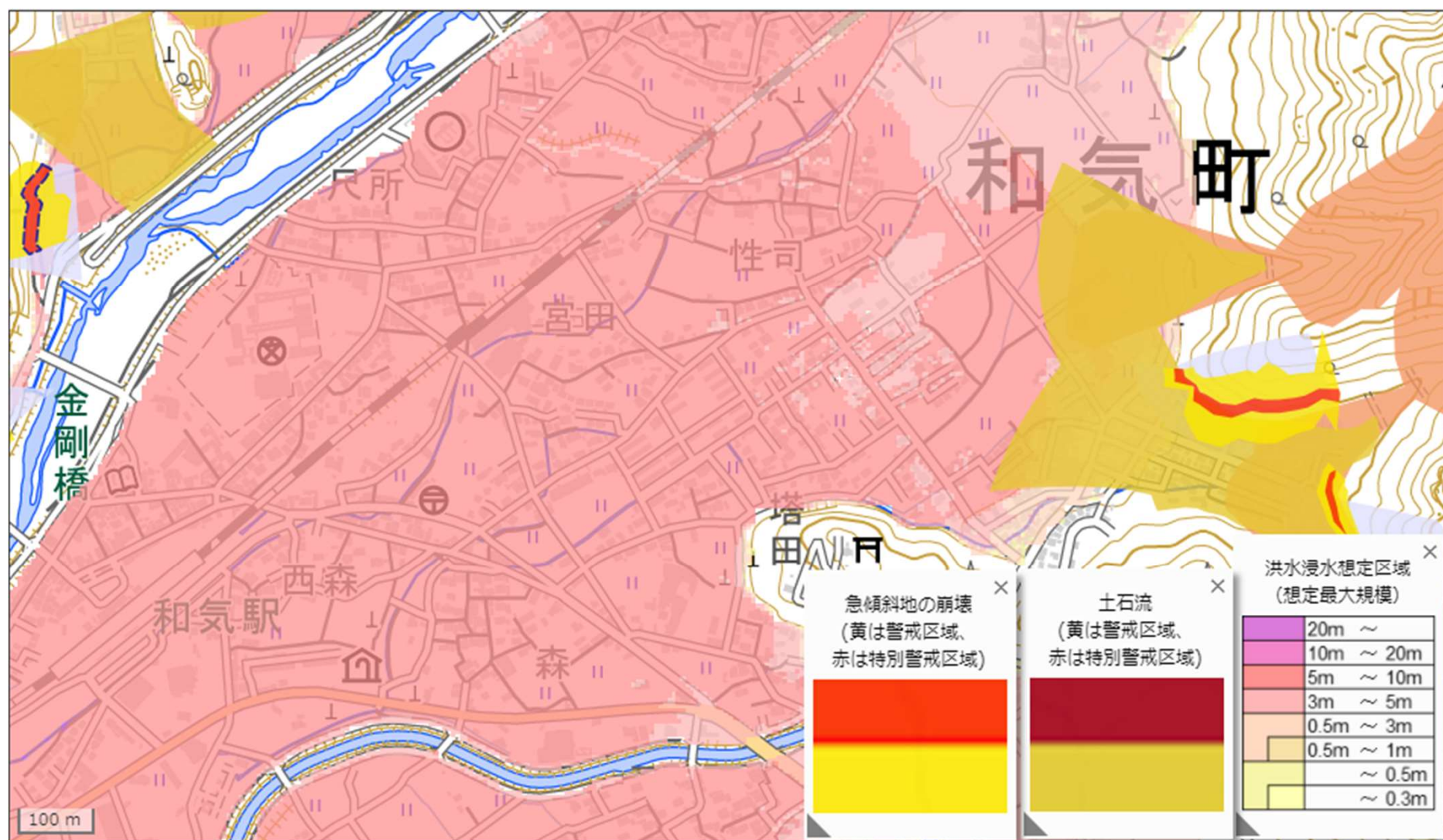


## ■ 宮田地区の災害リスクについて

---

- ・ 区内全域が金剛川の浸水想定区域に入っている。  
（想定最大規模降雨で5m～10m）
- ・ 土砂災害警戒区域は無し。
- ・ 隣接している区から流れてくる排水路・用水路で、冠水する恐れがある。（過去に冠水した経験あり）
- ・ 南海トラフ地震では、震度5強から6弱の揺れが予想されている。







## ■ モデル事業に応募したきっかけ

---

私自身、現役時代は消防士をしており、阪神淡路大震災など多くの災害現場へ派遣、救助・救援活動を行ってきた。

⇒ **自然災害の怖さを身をもって体感**

令和元年度に田ヶ原地区でモデル事業を実施、訓練を見学

⇒ **宮田区でも災害への備えを進めるべき**





## ■ モデル事業に応募したきっかけ

---

自らの体験・経験をもとに、

「災害はいつ起こるかわからない。明日来るかもしれないし、30年先かもしれない。自分たちの代で、災害時に誰一人残さず、避難支援できる防災計画を作り、子供や孫の世代にも引き継いでいきたい」と感じた。

⇒この考えでモデル事業に取り組むこととした。



## ■ 地区防災計画作成の流れ

### 第1回部会 (R3.7.30)

- ・ 講話「地区防災計画について」磯打千雅子 特命准教授
- ・ ワークショップ「地区の現状把握と計画作成に向けて」神田支部長



### 第2回部会 (R3.11.21)

- ・ 防災マップ作成に向けた「防災まち歩き」



### 第3回部会 (R4.3.20)

- ・ 地区防災計画（案）を活用した「避難訓練」の実施

## ■ 第1回部会 (R3. 7. 30)



磯打先生による講話

神田支部長による講話



## ■ 第1回部会 (R3. 7. 30)



グループワークの様子

- ・ 区内の危険箇所
- ・ 宮田区の強み・弱み





# ■ 第1回部会 (R3. 7. 30) SWOT分析

## 強み

- ・消防団が元気
- ・病院が近い
- ・道のアップダウンが少ない
- ・看護師さんが複数いる
- ・元消防士がいる
- ・コミュニティハウスの台所を使える人が多い
- ・山がない、大きな川がない
- ・地域に看護師さんが多い
- ・地域のコミュニティが良好
- ・若者が多い
- ・二階建て住宅が多い
- ・土砂災害の危険が少ない
- ・消防団員OBが多い、消防職員のOBも多数

## 弱み

- ・細い道が多い
- ・平屋が多い
- ・高齢者が多い
- ・災害経験値が少ない
- ・団地には独居の方が多
- ・車の移動場所がない
- ・病院がない、薬局がない
- ・過去に水害の経験がない
- ・道路が狭いところが多い
- ・避難ルールがない
- ・車の避難場所がない

## 強みを活かす

- ・区内の家が密集しているので集合しやすい
- ・元気な高齢者が多い、独居の高齢者が少ない
- ・炊き出しができる
- ・地域の方と若者の交流
- ・医療経験者
- ・看護師さんがいる

## 脅威＝弱点×災害

- ・コミュニティハウスが狭い（人口が多い）



## ■ 第2回部会に向けて

・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、大人数での打ち合わせ開催は断念

⇒コアメンバーで地区防災計画の内容について打合せを重ねる（会長、副会長、子ども会会長、老人会会長、消防団部長など）





## ■ 地区防災計画作成の流れ

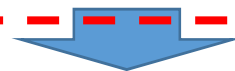
### 第1回部会 (R3.7.30)

- ・ 講話「地区防災計画について」磯打千雅子 特命准教授
- ・ ワークショップ「地区の現状把握と計画作成に向けて」神田支部長



### 第2回部会 (R3.11.21)

- ・ 防災マップ作成に向けた「防災まち歩き」



### 第3回部会 (R4.3.20)

- ・ 地区防災計画（案）を活用した「避難訓練」の実施



## ■ 第2回部会 (R4.11.21)

---

- ・ 自主防災会役員と消防団、子ども会を中心に「防災まち歩き」を実施。
- ・ 参加者約40人を2班に分けて、消火栓や災害時に活用できそうな物を探したり、大人・子どもそれぞれの目線で区内の危険箇所を探した。

⇒いろいろな年齢の方が一緒にまち歩きをすることで、世代間のコミュニケーションもとることができた。



## ■ 第2回部会 (R4. 11. 21)



出発前に中司防災士からポイントのレクチャー



まち歩きの様子

## ■ 第2回部会 (R4. 11. 21)



まち歩きの様子

各班で写真を地図に落とす



## ■ 第2回部会 (R4. 11. 21)



各班からの発表

完成した防災マップ





## ■ 地区防災計画作成の流れ

### 第1回部会 (R3.7.30)

- ・ 講話「地区防災計画について」磯打千雅子 特命准教授
- ・ ワークショップ「地区の現状把握と計画作成に向けて」神田支部長



### 第2回部会 (R3.11.21)

- ・ 防災マップ作成に向けた「防災まち歩き」



### 第3回部会 (R4.3.20)

- ・ 地区防災計画（案）を活用した「避難訓練」の実施



## ■ 第3回部会（R4.3.20）

---

- ・部会と並行して作成してきた「宮田地区防災計画（案）」を使用した防災訓練を令和4年2月6日（日）に計画しました。

が、岡山県に「まん延防止等重点措置」が適用されたため、実施を延期。今週末3月20日（日）に実施予定。

今回の協議会で、防災訓練の結果まで報告したかったのですが、申し訳ありません。



## ■ モデル事業を通じて

---

- ・ グループワークやワークショップでは、思っていた以上に参加者間で積極的に意見交換が行われたので、区民の防災への関心・興味が高いことがわかった。
- ・ 子ども会に積極的に関わってもらっていることで、子どもの目線だけでなく、女性の目線でも意見を多くいただいた。
- ・ モデル事業が終わっても、防災訓練など定期的に行う仕組みづくりが必要。